

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイルファクトリー		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 1日		～ R8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	R8年 2月 1日		～ R8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校や家庭とは違った経験を通して学び成長につながるような企画が多い	子どもたちが楽しんでもらえるよう体験施設や買い物学習、調理体験等、日頃体験できないような行事を実施しています。	行ったことのない施設や苦手と思われる施設の経験をしてもらえる様な取り組みを行って行きます。
2	保護者の方との連携や情報共有	送迎時や連絡帳等でお子さんの様子や変化を直ぐに伝え、保護者様との共通理解ができるようにしています。	保護者の方と様々な話ができるような関係作りを行い、今後も誠意をもって対応させていただきます。
3	相談しやすい環境	保護者の方と些細な事でも話ができるような関係作りを行い、今後も誠意をもって対応させていただきます。	伝えやすさや話やすい環境を心掛け誠意をもって対応させていただきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流機会	地域支援・地域連携に対する情報収集不足・関わり不足。	地域の活動などの情報集や参加を積極的に行う。
2	非常災害発生時に備えた定期的な避難やその他必要な訓練を行っているが、実際の災害時にどうなるか不安がある	避難訓練や避難ルートの確認や備蓄品の準備を行っているが、災害に対する経験がない点。	非常災害の発生時に備えた地域との連帯、環境の整備を行い、必要な訓練の実施を行う。
3	新規利用者の受け入れが難しい	多くの見学や新規のお問い合わせをいただくが、定員数の為お断りする事が多い。年度によって卒業される方と新規ご利用ご希望者様とのバランスが合わず新規の利用希望の方をお受け入れする事が難しい。	ご利用を希望されている新規利用者様に利用日に空きがでたタイミングの状況に応じてご連絡をさせていただいている。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スマイルファクトリー帯張本郷

公表日 R8年4月1日

利用児童数 R8年2月28日

回収数 29

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	7		3	もう少し広いと良いと思います。	設置物の配置など調整し、今まで以上に活動しやすいスペースの検討をさせていただきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	5	1	4	現在の職員数を把握していません。もう少し多いといいなと思います。	国で定められた配置基準以上の職員の配置を行っていますが、ご利用者様への周知の方法を検討させていただきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	4		4		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	1	1	2	もう少し広めだと良いと思います。	設置物の配置など調整し、今まで以上に活動しやすいスペースの検討をさせていただきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	3	1		専門性のある支援はわかりません。	職員の保有資格等含め活動内容のご家族様への周知方法を検討させていただきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	1	1	3		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	1	1			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25		1	3		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	2		1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	2	1	3		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	6	16	必要を感じない。	公園外出等での関わりの中で地域の子供と交流する機会がある
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	2	1			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	1	2			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	3	7	6	必要時に個別で相談している。	ご家族様からの相談に対しては勿論、施設側からも気になった点をご家族様へ積極的に関心をさせていただきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	27	1	1			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	2	1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	1	1	1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	6	6	7	必要を感じない。	年一回、スマイルグループ全体として、保護者会を実施させていただいています。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	1	1	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26		1	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25	3		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	2	1	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	3	2	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	1	1	7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25		1	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25		1	3	事故がまだ無い。 事故という事はありませんでした。	軽微な事故や、物品の故障等があった場合、直ちにご家族様へ、報告ご連絡を行う体制を整えています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28		1		家、学校以外に本人にとって安心できる居場所になっています。	安心・安全・快適な空間づくりを常に念頭にいれ関わらせていただいています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	2	1		「今日はお休み」と伝えると怒る程に楽しみにしています。	楽しみに感じて下さっているお話しを聞き大変うれしく思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	1	1	1	いつもあたたかくご支援してくださり、大変満足しています。	ご利用者様も含め、ご家族の要望を聞きながら活動の計画し実施を今後もさせていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		スマイルファクトリー幕張本郷		公表日		R8年 4月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	支援に必要のないものは活動の場には置かない。整理整頓を行う様になっている。	集団活動で繰り返し使用する物などは棚を用意し整理整頓するようにする。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	トイレへのアプローチの段差がある。	歩行に不安がある利用者さんに対して、職員が必ずつく様に対応している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2	修繕箇所を直しているが、全ては完了していない。	優先順位をつけ危険と思われる所からの修繕になっている。早い修繕が必要。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	カーテンを使用しクールダウンの場所としている。	他の利用者が目に入らないよう、本人が落ち着けるように活用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	利用者様の変化等職員間で共有している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	個々の特性にあった支援を強化する。	専門性の知識のある職員が個別活動において、実行していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	緊急を要する事項は当日に行い、遅くとも翌日の朝には行っている。	朝礼の場で振り返りや、情報共有を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	相談支援専門員さんを通して行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	地域の意見交換会にて	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	公園外出等での関わりの中で地域の子供と交流する機会がある	一日利用の場合は公園や公共施設での活動をプログラムとして行っている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		地域の住民方を招いての活動は出来ていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	親御さんからの情報を基に対応している。	職員間での共有を図っている。また、食育等の調理レクにおいては、親御さんへの確認を行い対応している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			